

バーリントン市姉妹都市提携 35 周年記念
板橋区公式訪問団派遣報告書

2024 年 6 月 29 日（土）～7 月 3 日（水）

文化・国際交流課



目次

1 派遣概要	1
(1) 訪問目的	1
(2) 板橋区公式訪問団	1
2 派遣日程	1
3 派遣日程詳細	2
(1) 1日目【6月29日(土)】	2
(2) 2日目【6月30日(日)】	4
(3) 3日目【7月1日(月)】	11
(4) バーリントン市の風景	19
4 訪問の成果	21
(1) 全体を総括して	21
(2) 区議会議員所感	22
資料編	25
○協定書	26
○バーリントン市との交流の経緯	27

1 派遣概要

(1) 訪問目的

板橋区とカナダ・バーリントン市が「姉妹都市宣言書」に調印して 35 周年を迎えるにあたり、区の公式訪問団を派遣することによって、今後のさらなる相互交流・発展及び世界平和のための協力関係を確認するとともに、バーリントン市の様々な分野における取り組みを学び、国際理解・交流の促進を図る。

(2) 板橋区公式訪問団

No.	氏名	役職
1	坂本 健	板橋区長
2	田中 やすのり	板橋区議会議長
3	佐々木 としたか	板橋区議会議員
4	鈴木 こうすけ	板橋区議会議員
5	高沢 一基	板橋区議会議員
6	いわい 桐子	板橋区議会議員
7	小林 晴臣	板橋区区民文化部文化・国際交流課長
8	舟山 百合子	板橋区議会事務局次長

随行者(区役所出発～帰庁)

株式会社ワールド航空サービス添乗員 市丸 ななみ

2 派遣日程

日付	内容
6月29日 (土)	板橋区役所 → 羽田空港 → トロント・ピアソン空港 → ウォーターフロントホテル → 夕食会
6月30日 (日)	表敬訪問(庁舎案内、市長室案内、市議会議場) → 桜植樹式 → パブリックアート除幕式 → クロフォード湖散策、先住民族の住居レプリカ見学 → タンズリーウッズコミュニティセンター → 夕食会
7月1日 (月)	アートギャラリーオブバーリントン → ローンボウリング体験 → ロイヤルボタニカルガーデン → 市民権授与式 → カナダデイオープニングセレモニー → 和太鼓鑑賞 → 公式歓迎会及びさよならディナー
7月2日 (火) 7月3日 (水)	ホテル出発 → トロント・ピアソン空港 → 羽田空港 → 板橋区役所

3 派遣日程詳細

(1) 1日目【6月29日(土)】

時間	内容
13:30	板橋区役所発
14:30	羽田空港到着 結団式・搭乗手続き
17:40	羽田空港発 AC002 便
17:10	トロント空港着
19:00	ウォーターフロントホテル着

●羽田空港を離陸後、飛行時間約 12 時間 30 分、日付変更線を越え、日本との時差マイナス 13 時間 (サマータイム期間)、現地時間で午後 5 時 10 分ごろ到着。天候は晴れ。空港では世界化委員会のメンバーであるロブ・リンがお出迎えしてくれた。



時間	内容
19:00	1階レストランにて夕食会

<バーリントン市側参加者>

市長

Marianne Meed Ward (マリアン・ミード・ウォード)

バーリントン市議会及び地域会議員 3名

Rory Nisan (ローリー・ニサン)

Paul Sharman (ポール・シャーマン)

Angelo Bentivegna (アンジェロ・ベンティヴェーナ)

世界化委員会 7名

Hassan Raza (ハッサン・ラザ世界化委員会会長)

Ed Dorr (エド・ドア前世界化委員会会長)

Marybeth Curtin (メアリーベス・カーティン板橋小委員会会長)

Rob Lyng (ロブ・リン前板橋小委員会会長)

Leanne Cecil (リアン・セシル板橋小委員会委員)

Dan McNeil (ダン・マクニール板橋小委員会委員)

Aysha Rizwan (アイシャ・リズワン板橋小委員会委員)

市職員

Lisa Palermo (リサ・パレルモ)



●ホテルに到着後、フロントにてバーリントン市職員のリサ・パレルモと世界化委員会のリアン・セシルがお出迎えしてくれた。

その後、ホテル1階のレストラン「PORT HOUSE」にて、マリアン・ミード・ウォード市長やローリー・ニサン議員、ハッサン・ラザ世界化委員会会長ら世界化委員会の方々、ブレイク・ハーリー法務専門官ら市職員の方々とともに夕食を取りながら、交流するとともに、お互いの現況などを報告し合った。



(2) 2日目【6月30日(日)】

時間	内容
8:45	表敬訪問(庁舎案内、市長室案内、市議会議場)

<バーリントン市側参加者>

市長

Marianne Meed Ward (マリアン・ミード・ウォード)

バーリントン市議会及び地域会議員 5 名

Rory Nisan (ローリー・ニサン)

Lisa Kearns (リサ・カーンズ)

Shawna Stolte (ショーナ・ストルテ)

Paul Sharman (ポール・シャーマン)

Angelo Bentivegna (アンジェロ・ベンティヴェーナ)

世界化委員会 3 名

Hassan Raza (ハッサン・ラザ世界化委員会会長)

Rob Lyng (ロブ・リン前板橋小委員会会長)

Leanne Cecil (リアン・セシル板橋小委員会委員)

市職員 3 名

Blake Hurley (ブレイク・ハーリー法務専門官)

Lisa Palermo (リサ・パレルモ)

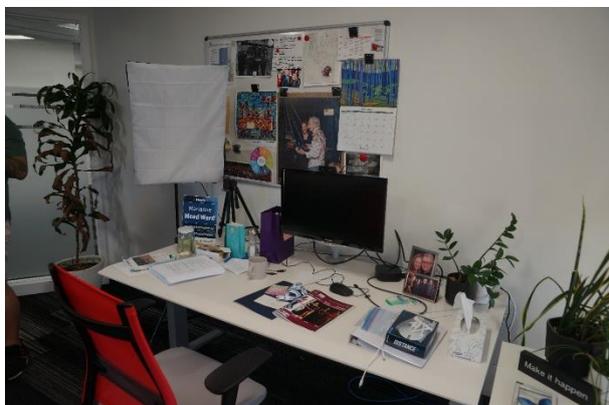
Jeevan Brar (ジーヴァン・ブラール)

●市議会議場での表敬訪問の前に、市長より庁舎の案内をしていただいた。

庁舎内には、いたるところに 35 周年の記念ロゴが掲示され、そのほか、富士見台小学校との交流作品である木版画や、25 周年時の交流時の写真、バーリントン市名誉市民となっている榎本太郎雄氏や中澤寛氏の功績を示したパネルなどがロビーに掲示されており、市民ともに 35 周年を祝う気運を盛り上げていることを実感した。



●市長室では、今までの交流時の写真のほか、広島における原爆をモチーフにした絵画を世界平和を願い飾っていることが印象的であった。また、30周年記念でバーリントン市の公式訪問団が板橋区を訪問した際にお渡しした花束をドライフラワーにして飾っていることに驚くとともに、その真摯な姿勢に感銘を受けた。



●その後、市議会議場にて式典を行った。市長、区長それぞれの挨拶で、35年間にわたるこれまでの交流に対しお互いに感謝の気持ちを表しながら、今後も交流を積み重ね、文化や友情を共有し、世界平和に貢献していくことを確認した。また、両都市は遠いところにあるが少子高齢化、移民の増大、自然災害など共通の課題があり、これらについての対応を互いに参考にしながら取り組んでいく意志を共有し、お互いにギフトを贈呈した。

板橋区議会からは、議長の挨拶とともに、ギフトを贈呈した。バーリントン市議会もローリー・ニサン議員から歓迎の挨拶と全員へギフトが贈呈された。





時間	内容
10:30	桜の植樹式
10:50	パブリックアート除幕式

<バーリントン市側参加者>

表敬訪問と同様

●市長より、桜は板橋区とバーリントン市の根深い友情を示している。世界が分裂している今、皆で木を植えて育んでいくことは友情を育み世界平和に繋がるものであると挨拶があり、末永く続く友情を願い植樹を行った。



●その後、スペンサーズミスパークにある電機設備を利用して描かれたアートの除幕式を行った。表面には板橋区にかかる橋が、裏面にはバーリントン運河にかかる橋が描かれており、同じ橋で全く場所の違う2つの地域を結ぶことで平和とグローバルを表現しているということであった。



時間	内容
12:20	クロフォード湖散策、先住民族の住居レプリカ見学

<バーリントン市側参加者>

市長

Marianne Meed Ward (マリアン・ミード・ウォード)

バーリントン市議会及び地域会議員

Rory Nisan (ローリー・ニサン)

世界化委員会 3 名

Hassan Raza (ハッサン・ラザ世界化委員会会長)

Marybeth Curtin (メアリーベス・カーティン板橋小委員会会長)

Leanne Cecil (リアン・セシル板橋小委員会委員)

市職員

Lisa Palermo (リサ・パレルモ)

●クロフォード湖は現地ガイドによる話を聞きながら散策した。

散策路には絶滅危惧種などをモチーフにした像が点在している。その一つのオオカバマダラというチョウは、カナダとメキシコ間約 3000km という最も長い距離を移動する。

クロフォード湖の水深は 23m とかなり深く、上の層と下の層では水の性質が全く異なる。また、地質を調べるとその年代のことがわかるので世界各国から研究者たちが研究に訪れるという。



●その後、先住民族の住居レプリカを見学した。

この先住民族は女系。長老も女性で娘たちが同じ家に住み、婿も一緒に暮らしていたそう。

油はひまわりの種を潰し、クロフォード湖に浮かべる。そうすると油が浮いてくるので、すくって利用していた。そのため今でも湖からはひまわりの種が発見されている。



バーリントン市郊外は自然が豊かであり、学術的にも大変貴重なエリアであることが分かった。表敬訪問時にローリー・ニサン議員が自然や古代の人類からバーリントン市の多くを学んで欲しいと言っていたことに違わない場所であった。また、湖は市民の散歩コースとしても有名な場所であり、路面の整備が行き届いているところや案内看板が認識しやすいよう場所や色を工夫しているところなど学ぶところが多かった。

時間

内容

15 : 50 タンズリーウッズコミュニティセンター

<バーリントン市側参加者>

クロフォード湖散策、先住民族の住居レプリカ見学と同様

●バーリントン市の Itabashi-way 沿いにあるタンズリーウッズコミュニティセンターには、5年前の 30 周年を記念して開園した「板橋ガーデン」がある。開園する際のオープニングセレモニーの際は盛大にお祝いをいただいた。

日本庭園の中にカエデが植えられており、板橋区とバーリントン市の友好のコラボが実現したスポットとして市民に親しまれているそう。

5年前より長くなった松の木を見て友好関係の積み重ねを改めて感じた。

タンズリーウッズコミュニティセンターより3分ほど歩いた場所に「Itabashi-Bridge」がある。これは 1997 年に板橋区から寄贈した橋である。弧を描く太鼓橋であり、板橋ガーデンとともに見事に自然と調和していた。今後も日本の文化を身近に感じられる施設として多くの方に足を運んで欲しいと強く願う。



時間	内容
19:35	夕食会

<バーリントン市側参加者>

市長

Marianne Meed Ward (マリアン・ミード・ウオード)

バーリントン市議会及び地域会議員 4 名

Rory Nisan (ローリー・ニサン)

Angelo Bentivegna (アンジェロ・ベンティヴェーナ)

Shawna Stolte (ショーナ・ストルテ)

Paul Sharman (ポール・シャーマン)

世界化委員会 4 名

Hassan Raza (ハッサン・ラザ世界化委員会会長)

Marybeth Curtin (メアリーベス・カーティン板橋小委員会会長)

Rob Lyng (ロブ・リン前板橋小委員会会長)

Leanne Cecil (リアン・セシル板橋小委員会委員)

市職員 3 名

Blake Hurley (ブレイク・ハーリー法務専門官)

Jacqueline Johnson (ジャックリーン・ジョンソン部長)

Lisa Palermo (リサ・パレルモ)



●昨日に引き続き夕食会をパールホテルにあるイザベルレストランで開いていただいた。本日の交流により、昨日よりも友好を深めたためか、一層話に花が咲いた。互いの行政課題の共有や教育の違い、スポーツ振興などについて熱心な話が遅くまで続けられた。

夕食会の終わりにロブ・リンから挨拶が日本語で行われた。聞くとバーリントン市の日本語教室に通っているそう。一部片言であったが、交流都市との友好を示すために勉強中の日本語を選び挨拶される様子に感銘を受けた。国際交流にはこのような姿勢が何より大事なものであると学ぶことができた。



(3) 3日目【7月1日(月)】

時間	内容
8:30	アートギャラリーオブバーリントン

<バーリントン市側参加者>

市長

Marianne Meed Ward (マリアン・ミード・ウォード)

世界化委員会

Rob Lyng (ロブ・リン前板橋小委員会会長)

市職員

Lisa Palermo (リサ・パレルモ)

●7月1日はカナダデー(カナダ建国記念日)であり、国を挙げてお祝いする祝日である。バーリントン市が用意してくれた祝祭ムードを盛り上げる記念Tシャツや帽子、フラワーレイを着用し臨んだ。

館内スタッフのジャスミンに対応してもらい、トルコ出身トロント在住の女性アーティスト Alize Zorlutuna (アリゼ・ゾルトゥナ)によるアートを見学した。

マーブル模様が施された布や陶器が天井から下がっている立体的な空間の真ん中に手作りのタフティングがあり、寛ぎながらアートを楽しむように空間が作られていた。また、匂いが作品の一部になっており、視覚だけでなく五感で楽しむしかけが新しく、参考になった。

廊下には5年前の30周年記念の際に板橋区より寄贈された加賀友禅が飾られており、その横には25周年の際にトロントのアーティストであるロバート・ベイトマンにより描かれたタンチョウヅルの絵が飾られていた。タンチョウヅルの絵は、板橋区に贈呈されたオオアオサギの絵と対になっており、二つを合わせると向かい合わせになるデザインで描かれている。丁寧に飾られている絵を見て、バーリントン市の板橋区に対する真摯な姿勢を改めて感じた。また、奥の部屋には観覧者が作品の一部を作るエリアがあった。観覧者自らがアートに参加する趣向も斬新であり、皆作り方を教わりながら楽しく取り組んでいた。一緒に取り組むことでより印象的な思い出になった。



時間	内容
10:00	ローンボーリング体験

<バーリントン市側参加者>

市長

Marianne Meed Ward (マリアン・ミード・ウォード)

バーリントン市議会及び地域会議員 2 名

Rory Nisan (ローリー・ニサン)

Angelo Bentivegna (アンジェロ・ベンティヴェーナ)

世界化委員会 5 名

Hassan Raza (ハッサン・ラザ世界化委員会会長)

Marybeth Curtin (メアリーベス・カーティン板橋小委員会会長)

Rob Lyng (ロブ・リン前板橋小委員会会長)

Leanne Cecil (リアン・セシル板橋小委員会委員)

Aysha Rizwan (アイシャ・リズワン板橋小委員会委員)

市職員

Lisa Palermo (リサ・パレルモ)

●市長が招待されていたイベントに参加させていただいた。

部外者である私たちを笑顔で迎えていただいた。皆寛容な方々であったが、市長が挨拶の際に板橋区を紹介してくれたことが大きいと感じ、その配慮に感激した。

非対称形の球を、ジャックと呼ばれる目標球のどれだけそばに近づけられるかを競う球技であったが、カナダではとても人気のあるスポーツであるのだそう。参加者は皆ご高齢であったが、楽しそうにプレイしているのが印象的であった。私たちもルールを教えてもらいながら楽しんだ。このような誰でも参加できる競技は友好を深めるツールとして最適であると大変参考になった。



時間	内容
11:00	ロイヤルボタニカルガーデン

<バーリントン市側参加者>

市長

Marianne Meed Ward (マリアン・ミード・ウォード)

バーリントン市議会及び地域会議員議員

Rory Nisan (ローリー・ニサン)

世界化委員会 4 名

Hassan Raza (ハッサン・ラザ世界化委員会会長)

Marybeth Curtin (メアリーベス・カーティン板橋小委員会会長)

Rob Lyng (ロブ・リン前板橋小委員会会長)

Leanne Cecil (リアン・セシル板橋小委員会委員)

市職員

Lisa Palermo (リサ・パレルモ)

●園内スタッフであるアレックスに案内していただいた。

カナダ最大の植物園であり、国定史跡に指定されているこの施設は全体で 2,700 エーカー(約 11 平方キロメートル)にもわたる、2,300 種、180,000 本以上の植物が生育しているそう。

敷地が広大であるため、アレックスの専門であるバラを中心に案内してもらった。バラの生育には以前農薬を使っていたが、害虫による被害を防止できるよう近くに植える花の組み合わせや土壌改良を行い、現在は無農薬で安全な庭園になっている。そのおかげで北米で最も持続可能な庭園となった。

このような環境を改善する努力を植物園が一丸となって取り組む様に、バーリントン市の SDGs に対する熱意を感じ、誇りを持って仕事をしている職員とともに見習うべきところが多かった。

バラと言っても、色や形、匂いが品種によって異なり、その違いを各々楽しんだ。



時間	内容
14:00	市民権授与式出席

<バーリントン市側参加者>

市長

Marianne Meed Ward (マリアン・ミード・ウォード)

●カナダでは、永住権所持者が一定期間カナダに定住すると、市民権取得の権利が発生する。

市民権取得には、カナダの知識と英語力もしくはフランス語のテストがあり、合格すると授与式で宣誓することで、市民権が与えられる。市民権授与式は市民権申請の長い手続きの最後のステップであり正式な式典である。その式典に出席させていただいた。

来賓には、退役軍人の方やカナダの原住民の方などが出席され、また多くの観衆がいる中、皆でお祝いする式典は、多民族国家であるカナダの特徴的な取り組みであり、多文化共生意識の醸成の観点からもとても印象的であった。



時間	内容
16:00	カナダデイオープニングセレモニー
18:00	和太鼓鑑賞

〈バーリントン市側参加者〉

市長

Marianne Meed Ward(マリアン・ミード・ウォード)

バーリントン市議会及び地域会議員議員

Rory Nisan(ローリー・ニサン)

世界化委員会 3名

Marybeth Curtin(メアリーベス・カーティン板橋小委員会会長)

Rob Lyng(ロブ・リン前板橋小委員会会長)

Leanne Cecil(リアン・セシル板橋小委員会委員)



●スペンサーズミスパークにてカナダデイのオープニングセレモニーに出席した。市長の挨拶の際に、交流都市である板橋区の紹介と私たち一人ひとりの紹介をしていただいた。

また、区長からは、「Hello Burlington! Happy Canada Day!」という挨拶から始まり、バーリントン市との友好関係を今後も末永く続け、両都市の発展と世界平和に貢献していきたい。そのために、ともにカナダデイという記念すべき日を祝いたい旨挨拶し、多くの拍手に包まれた。



●その後、ステージ上では世界で活躍する太鼓団体「永田社中」によるパフォーマンスが披露された。

バーリントン市では太鼓団体の活動も盛んであり、会場を盛り上げていた。公園内には多くの店が出店していたほか、多くの子どもたちが遊具や芝生の上で遊び、多くの人がカナダデイを祝い、楽しんでいた。



時間	内容
19:00	公式歓迎会及びさよならディナー

<バーリントン市側参加者>

市長

Marianne Meed Ward (マリアン・ミード・ウォード)

バーリントン市議会及び地域会議員議員 6 名

Rory Nisan (ローリー・ニサン)

Kelvin Galbraith (ケルヴィン・ガルブレイス)

Lisa Kearns (リサ・カーンズ)

Shawna Stolte (ショーナ・ストルテ)

Paul Sharman (ポール・シャーマン)

Angelo Bentivegna (アンジェロ・ベンティヴェーナ)

世界化委員会 10 名

Hassan Raza (ハッサン・ラザ世界化委員会会長)

Ed Dorr (エド・ドア前世界化委員会会長)

Marybeth Curtin (メアリーベス・カーティン板橋小委員会会長)

Rob Lyng (ロブ・リン前板橋小委員会会長)

Leanne Cecil (リアン・セシル板橋小委員会委員)

Dan McNeil (ダン・マクニール板橋小委員会委員)

Anne Koopman (アン・クープマン板橋小委員会委員)

Mary-Anne Campanelli (メアリー＝アン・カンパネッリ板橋小委員会委員)

Diana Tello (ディアナ・テロ板橋小委員会委員)

Chris Van Dooren (クリス・ヴァン・ドーレン板橋小委員会委員)

市職員 3 名

Jacqueline Johnson (ジャックリーン・ジョンソン部長)

Lisa Palermo (リサ・パレルモ)

Jeevan Brar (ジーヴァン・ブラール)

要人 6 名

松永 健(たけし)在トロント日本総領事

Karina Gould (カリナ・グルド下院議員(カナダ与党下院院内総務))

Effie Triantafilopoulos (エフィ・トリアンタフィロプロス州議会議員(経済開発大臣政務官))

Gary Carr (ゲイリー・カー ハルトン地域長)

Adam Van Koeverden (アダム・ヴァン・コーヴァーデン下院議員(環境・気候変動大臣およびスポーツ・体育大臣政務官))

White Eagle (ホワイト・イーグル先住民族長老)



●スポンサー・スミス公園内のスポンサーズ・オン・ザ・ウォーターフロント展望席にて、約 40 名が参加した盛大な夕食会を開いてくれた。

市長の進行のもと、急遽ご出席することになった先住民族長老のホワイト・イーグル氏より区長にお清めの儀式を行っていただいた。ホワイト・イーグル氏はヒーラーであり、ヒーリングでは悪いエネルギーを彼女の体を通して出し、良いエネルギーを彼女の体を通して受け取るとのこと。

ローリー・ニサン議員の乾杯の挨拶では、この度の交流が大変有意義であったこと、互いの友好関係の発展に繋がったことを話された。

また、田中議長より同行した議員の交流を経ての感想を披露しつつ、乾杯の挨拶を行った。

しばし歓談の時間を入れての市長の挨拶では、今回の訪問の総括をし、区長は訪問先で建築や環境に関する事など多くの質問をし、その積極的に学ぶ姿勢は見習わなければならないこと、区長とは多くの話をし、困難に立ち向かう際の対応や大きな視点での物の見方など多くの点で自分と似ていること、この度の訪問で互いの絆がさらに強くなったことなどを話された。

その後、松永在トロント日本総領事より招待のお礼及び両都市の発展を記念する挨拶があった。

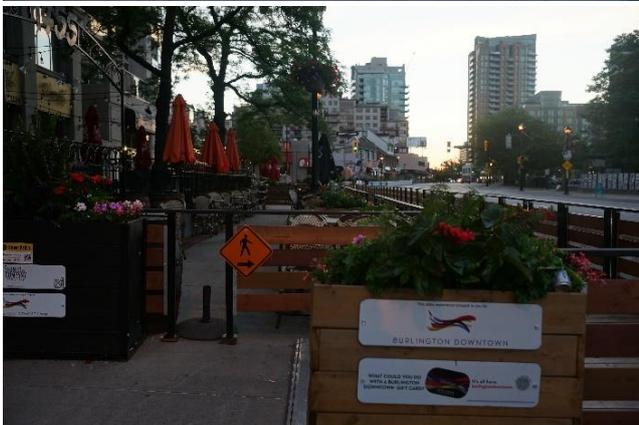
日の入りを待って、ドローンショー及び花火大会が始まり、会場から皆で鑑賞した。

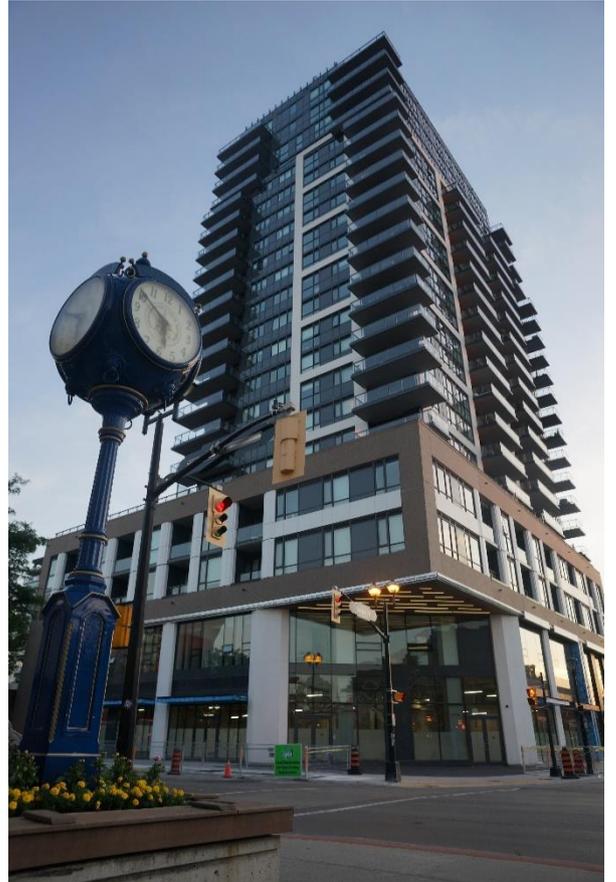
最後の区長の挨拶では、温かい歓迎と、心のこもった「おもてなし」に心から感謝するとともに、お互いの顔が見える交流を継続していくことは、世界平和を根底から支えるものとして重要なものであると挨拶し、今後さらなる交流を重ね、課題を共に考えながら両都市の発展に繋げていく考えを示し、最後に記念品を渡しつつ夕食会を締めくくった。夕食会が終わった後も皆名残惜しそうに話しを続けていた。





(4) バーリントン市の風景





4 訪問の成果

(1) 全体を総括して

今回の 35 周年記念公式訪問は、バーリントン市側からカナダデーの日を一緒にお祝いしたいとの提案を受けたものであったが、最終日の7月2日以外は休日であったにもかかわらず、バーリントン市の盛大な歓待に心から感謝したい。

行く先々でバーリントン市の真摯な姿勢や細やかな心遣いに驚くことが多かった。特に印象的であったのは、30 周年記念でバーリントン市の公式訪問団が板橋区にいらした際にお渡しした花束をドライフラワーにして飾っていたことと、市長をはじめ、市議会議員、世界化委員会、そして市職員の皆様が常に同行し、交流が絶えなかったということであった。バーリントン市の真摯な姿勢や心のこもったおもてなしに敬意を表するとともに、是非見習っていききたいと強く思う。

また、バーリントン市民も私たちを快く迎え入れてくれた。これは多様な民族を受け入れる土壌が既にできているだけでなく、市長が挨拶で度々姉妹都市である板橋区の紹介に時間を割いて説明していただいている成果であると感じる。このような誠意に改めて感謝したい。

今後も国境を越えた交流を深め、互いに学び合いながら両都市の発展に繋げるとともに、世界平和に貢献していく意志をお互いに確認することができた。この意志を後世につなぎ、板橋区の重要なパートナーとして切れ目ない友好関係を続けていきたい。

10 月の区民まつりの頃に、今度はバーリントン市の訪問団が板橋区を訪れる予定になっている。その際は、この度の訪問でいただいた歓待に対するお返しができるよう、何ができるか皆で考え、心に残るおもてなしをしていきたい。また、このような取り組みを通して、区民に異なる文化を理解し、尊重する多文化共生意識の醸成を図っていきたい。



出発の朝 最後まで見送りのおもてなしを受けた。

(2) 区議会議員所感

○田中やすのり 区議会議員長

カナダ・バーリントン市の熱烈な歓迎、そして心の行き届いたおもてなしを絶えず受けました。最初に抱いた率直な印象です。

バーリントン市は、私たち訪問団を、羅針盤コンパスの東西南北に例えて、それぞれの地域がもつ魅力を私ども訪問団に伝えてくれました。訪問視察の途中をはじめとして、市議会への表敬訪問、レセプションパーティーなど、相互に交流を深める機会を数多く設けていただきました。このことに深く感謝しております。

最終日の帰国前に、ホテルまでお見送りにきていただいたときには、これが強い絆になるかもしれないと直感で確信を持ちました。恥ずかしさもあり、流さないまでも涙が込み上げてきてしまったことを感じ、隠すように満面の笑顔で返しました。今後、バーリントン市からの訪問団が板橋に来訪された時には、今回の交流から受け取った感謝の気持ちを、そのまま心から表したいと思いました。

今秋のいたばし区民まつりには、バーリントン市訪問団が参加してくださると聞いています。その時におもてなしできることを考えると、今からとても嬉しい気持ちになります。

こうして相互の気持ちが通じ合い、きっと交流は深まっていくのだろうという期待が高まるばかりです。男女の色恋ごとをはるかに超えた交流の在り方に初めて出会い、私は電光石火の思いをしました。

ありがとう、バーリントン市。

そして、私が最も感銘を受けたのが「カナダデイ(カナダ建国記念日)」での場面です。スペンサーズミスパークにて、カナダ人が心誇らしげに謳うカナダの国歌。カナダ国籍を取得できた方だけが深く染み入るカナダ国民とは何か。

オーオー、カナダ。そこに響き合う歌声。

国の歌を、先住民と新たな移民が分け隔てなく、誇らしげに謳うカナダの人々が清々しく見えました。

私も、日本の国歌を今までよりもっと堂々と、清々しく歌ってみたいと思わせてくれました。

○佐々木としたか 区議会議員

1994年(友好都市5周年)、2014年(同25周年)に続いて3回目の訪問の機会をいただき、澄み切った空、マリブルのオンタリオ湖、そして温かい「おもてなし心」を思い出し、胸の高鳴りを感じながらの出発でした。1日目は夕方ホテル(ウォーターフロントホテルダウンタウンバーリントン)に到着。歓迎夕食会では、昨日の友の様に打ち解けあい、和やかな内に初日は流れて行きました。

2日目は、市役所訪問日。市役所へ到着するなり、友好35周年の歓迎アート、看板、5年前の訪問団の写真等々、バーリントン市挙げての受け入れに感激しました。特に板橋区立富士見台小学校との交流彫刻絵画は、心を打つと同時に交流の歴史を見る事が出来ました。その後、スピーチ交換・記念撮影・植樹式(さくら)・スポンサーズミスパーク・パブリックアート除幕式と厳粛な内にも友好の深化を感じました。

午後はクロフォード湖の散策と先住民族の600年前の住居や生活様式に触れ、特に女性の名字が家督の「姓氏」となると伺い、文化・歴史の交流がもつ一面の大切さを実感しました。

3日目は、アートギャラリーオブバーリントン見学、そしてロイヤルボタニカルガーデンズ訪問し、当ガーデンでは、農薬を使わないバラづくりの大切さを学びました。

そして、いよいよカナダデー・建国記念日(7月1日)です。メインステージに案内され、坂本区長の挨拶・訪問団のご紹介を受け、ティーンズアーバンドの見事さに感動を頂きました。

夜は「歓迎夕食会兼さよならディナー」素敵なお酒に料理の数々、そして22:00、夜空を彩る花火とドローンによるパフォーマンスに「おもてなしの粋」を感じました。

最後にマリアン・ミード・ウォード市長はじめ、市議会議員、世界化委員会、そして多くの関係者、ボランティアの皆様にご心より感謝し、お礼を申し上げます。

○鈴木こうすけ 区議会議員

今回の、バーリントン市姉妹都市提携 35 周年記念公式訪問団の視察を通じて、マリアン・ミード・ウォード市長の本区に対する「おもてなし」の心の深さに感銘致しました。

今回の視察を通して、多くの印象的なことを体験しました。まず、その美しい自然環境に圧倒され、緑豊かな丘陵地帯や美しい湖、風光明媚な風景が目に焼き付いています。

また、バーリントン市の歴史的な建物や文化的な遺産に触れることができました。古い街並みや美術館、博物館など、歴史的な背景を感じる場所がたくさんありました。

さらに、地元の人々の温かさと親しみやすさに感銘を受けました。彼らの笑顔と親切な対応は、私の心に残りました。

バーリントン市は、自然と文化が調和した素晴らしい場所であり、再訪したいと思う一方で、今回の視察で得た知識や経験を大切に活かしていきたいと思えます。

また、10月19日(土)・20日(日)開催されます区民まつりに、バーリントン市から来訪されるとお聞きしておりますので、その際には、手厚い歓迎をさせて頂ければと思います。

○高沢一基 区議会議員

6月29日から7月3日までのカナダ・バーリントン市公式訪問では、マリアン・ミード・ウード市長を始めとするバーリントン市の皆さん、ローリー・ニサン議員を始めとする市議会の皆さん、ハッサン・ラザ会長を始めとする世界化委員会の皆さんには、心のこもった暖かいおもてなしでお迎え下さり、心より感謝申し上げます。

私は、5年前の30周年時もバーリントンとの相互訪問に参加させて頂きましたが、その時に知り合った世界化委員会のロブ・リン氏などとは、コロナ禍も含めて、SNSを通じた交流を続け、5年ぶりに再会できたことは、大きな喜びでした。公式日程の合間に、ロブ氏の自宅に招待されたことも、忘れることのできない思い出となりました。

国家間には様々な関係がありますが、その友好親善を深めるためには、個々人のつながりを忘れてはならないと思います。その積み重ねが、国家間の困難な課題を乗り越え、平安な世の中をもたらすものとなると信じます。

今回のバーリントン市訪問で、5年ぶりの友人に会えたこと、そして、新たな友人にも出会えたことが最大の成果でした。今年10月には、マリアンヌ市長ご一行が板橋区にいらっしゃるとのこと。大いに歓迎し友好を更に深められればと存じます。末筆ながら、バーリントン市と板橋区、そして、カナダと日本の末長い友好と、バーリントンの友人達の健康をお祈りします。

○いらい桐子 区議会議員

姉妹都市提携35周年を記念したバーリントン訪問において、3日間にわたるバーリントン市長と市議会、そして世界化委員会の方々との交流は有意義な時間を過ごすことができました。

市役所表敬訪問や湖畔の桜並木などから、板橋区とバーリントンの35年間の交流を再認識しました。また桜の植樹式やパブリックアートの除幕式では、バーリントン市としてのさらなる交流へ意思を強く感じました。

5年前に整備された「板橋ガーデン」では、気候の違う都市での日本の樹木の維持の困難を乗り越えた経緯も聞くことができました。また「カナダデイ」の日のローンボーリング体験や行事での歓迎の大きさ、和太鼓の演奏や鼓笛隊の真剣さにとても驚きました。

3日間多くの交流時間があり、市議会の方々との交流では、「市長も市議も、政党には属してはならない」「市議は小選挙区制で6人しかいない」など議会の仕組みの違いにも驚きました。市財政の約半分を人件費に充てていることや住宅、教育に関する課題などの交流はもっと話したいと感じる交流でした。同時にカナダ・バーリントン市が、高齢化と出生数低下が社会問題となっていることが、世界的な課題になっていることを改めて感じ、移民による人口増という中で、対等に生活している関係は学ぶことが多くありました。

熱い歓迎を準備して下さったみなさんや板橋から訪問団を準備して下さったみなさんに感謝しています。

資料編



姉妹都市宣言書



日本国東京都板橋区及び同区民並びにカナダ国オンタリオ州バーリントン市及び同市民は、姉妹都市提携を通じ、友好の絆を深めていくことを相互に合意する。

また、両都市は、世界平和が全ての国々の努力の結集により達成されるものであることを確信し、その促進に努めることを宣言するとともに、この姉妹都市関係が世界平和に大きく貢献することを希求する。

この姉妹都市関係は、現在及び将来における、教育、文化、レクリエーション、産業、行政、住民個々の交流等あらゆる分野にわたるものである。

ここに、1989年5月12日、板橋区及びバーリントン市は、両議会の同意のもとに国際的な姉妹都市として宣言し、この宣言書に調印する。

板橋区長

バーリントン市長

栗原敬三
栗原敬三


ローリー・バード

○バーリントン市との交流の経緯

市(区)民が互いに理解し合い、友情を深めることが世界平和の礎になるとの理念のもと、板橋区は1989年、カナダのオンタリオ州バーリントン市と姉妹都市提携を締結した。以来、板橋区とバーリントン市とは、青少年訪問団や区民ツアーの訪問、文化団体による文化交流など、市(区)民レベルでの様々な交流が続いている。

1985年	(S60年)		・区民まつりでのカナダフェアをきっかけにカナダ大使館と交流、意見交換を行い、トロント市について検討
1986年	(S61年)		・栗原区長がトロント市を訪問
1987年	(S62年)		・トロント市と情報交換をしていたところ、バーリントン市の情報が入り、同市について調査開始
1988年	(S63年)	4月	・栗原区長がバーリントン市を訪問
		7月	・区議会代表による姉妹都市提携事前調査団がバーリントン市を訪問
		10月	・ローリー・バード市長を含む調査団が板橋区を訪問
1989年	(H元年)	5月12日	・バーリントン市と姉妹都市提携(バーリントン市にて) 【調印団:区長、区議会議長ほか】
		9月	・区民訪問団がバーリントン市を訪問し、市民と交流
1990年	(H2年)	1月	・バード市長とバーリントン・ティーン・ツアー・バンドが板橋区を訪問(総勢 257名)
		3月	・バーリントン・エアーカデッツ(ボーイスカウトと同種の団体)が板橋区を訪問し、区内ボーイスカウトと交流
		6月	・姉妹都市提携1周年を記念して、オンタリオ湖畔で板橋区による花火大会を実施 ・区民訪問団(80名)がサウンド・オブ・ミュージック・フェスティバルに参加
		10月	・バード市長、世界化委員会委員長及びミス・ティーン・バーリントンが板橋区を訪問
1991年	(H3年)	3月	・青少年派遣団が、バーリントン市を訪問(20名:引率5名)
		6月	・区立図書館とバーリントン市図書館との間で「姉妹図書館宣言」 ・区民訪問団一行二団体(板橋郵便局及び板橋青色申告会主催ツアー)がバーリントン市を訪問
		7月	・シェリダンカレッジ夏期英語セミナーで区民がバーリントン市を訪問(20名)
		10月	・バード市長、世界化委員会委員長及び高校生(4名)が板橋区を訪問
1992年	(H4年)	6月	・和太鼓のグループがバーリントン市を訪問しサウンド・オブ・ミュージック・フェスティバルに参加
		7月	・バーリントン市青少年交流団が板橋区を訪問(28名) ・シェリダンカレッジ夏期英語セミナー(20名)
		10月	・ウォルター・マルケヴィッチ市長、経済交流団及び高校生が板橋区を訪問(計13名)
1993年	(H5年)	3月	・バーリントン・エアー・カデッツが板橋区を訪問
		6月	・茶華道連盟がバーリントン・マルチ・カルチャー・フェアに参加
		7月	・青少年派遣団がバーリントン市を訪問(30名:引率7名) ・シェリダンカレッジ夏期英語セミナー(15名)
		11月	・バード前市長一行(6名)が板橋区を訪問
1994年	(H6年)	6月	・姉妹都市提携5周年を記念して、オンタリオ湖畔で板橋区による花火大会を実施 ・区代表団、区民訪問団がサウンド・オブ・ミュージック・フェスティバルに参加(約80名)
		7月	・バーリントン市青少年交流団が板橋区を訪問(20名) ・シェリダンカレッジ夏期英語セミナー(14名)
1995年	(H7年)	3月	・板橋駅前公園内バーリントン広場が完成(姉妹都市提携5周年を記念し、前年11月より着工。 バーリントン市から寄贈された照明灯、カナダ大使館から寄贈されたサトウカエデ、バーリントン市の住宅を

			イメージしたトイレ、両区市のマークを入れた防護柵、北米をイメージした植栽などが整備された)
		7月	・区民ツアー (40名) ・青少年派遣バーリントン市を訪問(30名:引率5名) ・シェリダンカレッジ夏期英語セミナー(15名)
		10月	・バーリントン市代表団[議員(市長代理)ほか2名]及び市民劇団 (59名)が板橋区を訪問し、区民まつりにミュージカル「赤毛のアン」を上演(劇団員48名がホームステイ)
1996年	(H8年)	3月	・バーリントン市より「石」のプレゼント(バーリントン広場に設置)
		6月	・区民ツアー(40名)
		7月	・バーリントン市青少年交流団が板橋区を訪問(約20名) ・バーリントン市英語研修(16名)
		11月	・バード前市長一行(4名)が板橋区を訪問
1997年	(H9年)	6月	・板橋区よりバーリントン市へ「板橋」を寄贈、区民ツアー(40名)
		7月	・青少年派遣団がバーリントン市を訪問(30名:引率4名) ・バーリントン市英語研修(16名)
1998年	(H10年)	2月	・区立美術館で「カナダの現代セラミックアート展」開催(バーリントンアートセンターの収蔵品を展示) 学芸員ほか3名が板橋区を訪問
		6月	・区民ツアー(41名)
		7月	・板橋区の子供がバーリントンでの国際スポーツ大会に参加(子ども8名、保護者2名、引率1名) ・バーリントン市青少年交流団が板橋区を訪問(約20名) ・バーリントン市英語研修(16名)
1999年	(H11年)	6月	・姉妹都市提携10周年を記念してオンタリオ湖畔で板橋区による花火大会を開催 ・代表団、文化団体、区民ツアーがバーリントン市訪問(総勢107名) ・文化団体(和太鼓、三曲、和風)がサウンド・オブ・ミュージック・フェスティバルに出演
		7月	・青少年派遣団がバーリントン市を訪問(25名:引率4名) ・バーリントン市英語研修(16名)
		10月	・姉妹都市提携10周年を記念して、バーリントン市代表団(市長ほか10名)及び市民タップダンスグループ 「ザ・フットノーツ」が板橋区を訪問、区民まつりに参加(計26名) ・「バーリントン市友好時計」の寄贈を受ける(板橋区役所庁舎前に設置)
2000年	(H12年)	6月	・区民ツアー(32名)
		7月	・バーリントン国際スポーツ大会へ板橋区少年サッカー連盟と少女バレーボールチームが参加 (子ども:23名、監督・コーチ:9名、引率:2名)
2001年	(H13年)	9月	・板橋区文化団体訪問ツアーがバーリントン市を訪問 (神田流神明囃子保存会(16名)、板橋区演奏家協会(11名))
2002年	(H14年)	4月	・バード元市長一行(6名)が板橋区を訪問
		6月	・区民ツアー(34名)
		8月	・バーリントン国際スポーツ大会へ板橋区少年サッカー代表チームが参加(子ども:14名、監督・コーチ:4名)
2003年	(H15年)	9月	・区民ツアー(28名)
		10月	・マックアイザック市長一行(2名)が板橋区を訪問 ・バーリントン市民ツアー一行(40名)が板橋区を訪問
2004年	(H16年)	6月	・姉妹都市提携15周年を記念して、区代表団、文化団体、区民ツアーがバーリントン市を訪問(総勢79名)

			<ul style="list-style-type: none"> ・バーリントン市役所での「板橋区紹介写真展」の開催 ・サウンド・オブ・ミュージック・フェスティバルへの「いたばしまつり屋台」の出店 ・文化団体(萩原正義里神楽社中)の神楽公演等 ・代表団・文化団体・市民ツアー(55名)が板橋区を訪問
		10月	・美術展を板橋区へ招聘しグリーンホールで開催、区民まつりへの参加等様々な記念行事を実施
2005年	(H17年)	6月	・区民ツアー(19名)
2006年	(H18年)	6月	・バーリントン国際スポーツ大会へ少女バレーボールチームが参加(高校生:21名、監督・コーチ:2名、保護者:3名)
2007年	(H19年)	6月	・クラークスデール小学校と区立富士見台小学校間で凧・折り紙交流
		8月	・バーリントン市中央図書館より区立中央図書館へ図書・DVDの寄贈(58点)
		10月	・「姉妹都市カナダ・バーリントン市フェア」を実施(10月5日～10月12日)
		11月	・板橋区立中央図書館よりバーリントン市中央図書館へ図書寄贈(61点)
2008年	(H20年)	7月	・ブルース・T・リンドリー小学校と区立富士見台小学校間で手紙交流
		9月	・議員団がバーリントン市を訪問
2009年	(H21年)	2月	・バーリントン・ティーン・ツアー・バンド代表者が板橋区を訪問
		7月	<ul style="list-style-type: none"> ・St. Marks 小学校と区立富士見台小学校間でDVD交流 ・姉妹都市提携20周年を記念して、バーリントン市代表団(市長ほか6名)及び市民ツアー(12名)、バーリントン・ティーン・ツアー・バンド(総勢約230名)が板橋区を訪問、花火大会や演奏会、交流会に参加 ・バーリントン市よりベニカエデの寄贈を受ける(板橋区役所庁舎前植込みに植樹)
		9月	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市提携20周年を記念して、区代表団(区長ほか8名、区民ツアー(20名)、文化団体(12名)がバーリントン市を訪問 ・板橋区よりバーリントン市へ桜の木を寄贈(ローリー・バード・パークに植樹)
2011年	(H23年)	3月	・バーリントン市内小学校3校と、区立前野小学校間で生徒の作品交流
		4月	・バーリントン市長より、東日本大震災に対する見舞い状が届く
		5月	・バーリントン市内小学校3校と、区立富士見台小学校間で生徒の作品交流
2012年	(H24年)	3月	・板橋区立中央図書館よりバーリントン市中央図書館へ図書寄贈(23点)
		4月	・バーリントン市中央図書館より区立中央図書館へ図書寄贈(17点)
		6月	・バーリントン市内小学校2校と、区立富士見台小学校間で生徒の作品交流
		9月	<ul style="list-style-type: none"> ・バーリントン市写真サークル「LATOW」と、私立城北中・高等学校写真部間で写真交流 ・フローレンス・メアレス小学校と、区立富士見台小学校間で生徒の作品交流
2013年	(H25年)	6月	・バーリントン市写真サークル「LATOW」と、私立城北中・高等学校写真部、東京家政大学写真部間で写真交流
		11月	<ul style="list-style-type: none"> ・バーリントン市公式訪問団(副市長ほか6名)及び市民ツアー(21名)が板橋区を訪問、サトウカエデ記念植樹式、歓迎行事等に参加 ・ライアーソン小学校と、区立富士見台小学校間で生徒の作品交流
2014年	(H26年)	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・区代表団(区長ほか8名)と文化団体がバーリントン市を公式訪問、歓迎行事等に参加。郷土資料館所蔵の鎧と浮世絵をアート・ギャラリー・オブ・バーリントンにて展示。 ・区内在住の高・大学生(9名)がバーリントン市を訪問、英語研修とホームステイを実施(7月27日～8月8日) ・St.Marks 校と区立富士見台小学校間で生徒の作品交流

- | | | | |
|-------|--------|-----|--|
| | | 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ・バーリントン市写真サークル「LATOW」と、私立日本大学豊山女子高等学校写真部間で写真交流 ・バーリントン市私学校(Trinity Christian School)と区立若木・蓮根・板橋第十小学校間で生徒の作品交流 |
| 2017年 | (H29年) | 4月 | <ul style="list-style-type: none"> ・Elizabeth Seton Schoolと区立富士見台小学校間で生徒の作品交流 |
| | | 11月 | <ul style="list-style-type: none"> ・M.M.Robinson high Schoolと大東文化大学第一高等学校間で文通交流 ・バーリントン市世界化委員会板橋支部長が板橋区を訪問 |
| 2018年 | (H30年) | 4月 | <ul style="list-style-type: none"> ・Sir Ernest McMillanと区立富士見台小学校間で生徒の作品交流 |
| | | 10月 | <ul style="list-style-type: none"> ・M.M.Robinson high Schoolと大東文化大学第一高等学校間で文通交流 |
| 2024年 | (R6年) | 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ・板橋市とバーリントン市の姉妹都市提携 35周年を記念した |

バーリントン市姉妹都市提携 35 周年記念
板橋区公式訪問団派遣報告書

編集 区民文化部文化・国際交流課
令和6年8月5日